様式１

「目標」別取組状況検証表

目標	1	県民に開かれた知の拠点
目指す目標像	県立図書館は、全ての県民が気軽に利用でき、県民の多様なニーズに応える「知の拠点」として、生涯学習を通じて豊かな知識と心を育む場を提供します。	
関連取組	1-①県民が主体的に集い・交流・創造する「場」づくり　1-②展示コーナーを活用した情報発信　1-③ボランティア等県民との協働 2-①障害者等向け資料の充実　2-②障がい者等サービスについての広報　2-③研修会・講演会等の開催 3-①多文化エリアのサービス充実　3-②外国人向けの情報提供の充実 4-①窓口委託業務のモニタリング等　4-②満足度アンケートの実施 5-①ホームページの充実　5-②広報誌・SNSによる情報発信　5-③各種イベントへの参加	

Ⅰ　活動指標の進捗状況　（Ｐｌａｎ・Ｄｏ）

令和３年度

				R3 (A)	R4	R5	R6	R7	進捗状況
活動指標1	活動指標名	ｲﾍﾞﾝﾄ実施回数（連携ｲﾍﾞﾝﾄ含む）	年度別計画	50	50	50	50	50	順調
	備考（活動概要）	【計画の概要】（特別整理期間を除き）週に１回以上開催する。 ※R1は新館開館１周年記念の委託事業により大幅増となっている。 【R3の状況】 ５～９月は新型コロナウイルス感染症による臨時休館があり、年間の実施回数が減少した。	実績値	H30	R1	R2	R3 (B)	達成割合 B/A	
				76	179	113	60	120.0%	
活動指標2	活動指標名	展示架稼働率	年度別計画	R3 (A)	R4	R5	R6	R7	進捗状況
	備考（活動概要）	【計画の概要】 展示架稼働率を９割以上とする。 ※実績値下段は実施回数（参考） 【集計条件等】 展示稼働率＝展示延べ日数/（年間総日数×展示架総数※）とする。 ※展示架数(R2時点)：３F展示架等＝14、４F展示架＝2　合計16 【R3の状況】 3F:146回、4F：27回 新型ｺﾛﾅｳｲﾙｽ感染症による臨時休館の期間を事前に把握することができず、開館が直前に決まったため、展示の予約や実施に影響が及び、稼働率が減少した。		90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	順調
			実績値	H30	R1	R2	R3 (B)	達成割合 B/A	
				－ －	88.6% (188回)	93.6% (165回)	86.1% (173回)	95.7%	
活動指標3	活動指標名	障害者向け資料受入冊数	年度別計画	R3 (A)	R4	R5	R6	R7	進捗状況
	備考（活動概要）	【計画の概要】 大活字本の年間発行冊数（毎年60冊程度）を踏まえ、最低限の収集冊数として設定。DAISY図書やLLﾌﾞｯｸ、さわる絵本等は出版状況等に応じて収集を行う。 【R3の状況】 大活字本120冊、LLブック等22冊、デイジー図書等71点 ※ﾕﾆﾊﾞｰｻﾙｺｰﾅｰ充実の為、既刊資料の遡及購入も行った結果、年間発行冊数を上回る実績となった。またデイジー図書の利用申込みも多かった。	実績値	60	60	60	60	60	順調
				H30	R1	R2	R3 (B)	達成割合 B/A	
				－	－	－	213	355.0%	

備考（その他の活動等）

○多文化・国際交流関係イベントとして、アメリカ映画上映会、英語講座、英語多読講座、英語でおはなし会等を開催。
【R3に実施した主な展示】
○おさかゆー展示（シルクロード 復帰）○祝入学・入社展示　○Twitterバズり本（Twitterフォロワー数5000人突破記念）
○ウクライナとロシアの民話　○沖縄地区税関発足50周年記念パネル展
○ビジネス書グランプリ展示　○18歳から新成人　○第2回ちゅらうちなー一草の根平和貢献賞パネル展
○令和３年度　琉球文化日本遺産魅力発信展示　○令和３年度　性の多様性の尊重に関するパネル展
○復帰50周年記念シンボルマークの県民投票　○世界の言語展示　○衆議院議員選挙展示　○ノーベル賞受賞展示
○ブラジル展示　○掃除・片付け展示　○忠臣蔵展示　○鬼滅展示（大正・遊郭等）○若い人に贈る読書のすすめ（成人の日）
○主婦休みの日展示　○遺跡から分かる沖縄の旧石器時代プラス泡盛　○沖縄・台湾デザインコラボレーション
○東京2020オリパラ展示　○令和３年度　中学生・高校生の作文優秀作品展　○詩の展示　○沖縄のトートーメー（位牌）入門
○世界自然遺産　○10月30日は[世界のウチナーンチュの日」パネル展　○臓器移植普及啓発 ○児童・生徒の平和メッセージ展
○沖縄の外来種問題を考えよう！　○新型コロナに負けないからだづくり

【参考】障害者等向け資料の貸出点数

	R1	R2	R3
ﾕﾆﾊﾞｰｻﾙｺｰﾅｰ※	514	539	458
大活字本ｺｰﾅｰ	3,834	2,456	2,657
計	**4,348**	**2,995**	**3,115**
開館日１日あたり	15.5	12.1	14.2

※点字の本、ﾃﾞｲｼﾞｰ図書、さわる絵本等を配架したｺｰﾅｰ

Ⅱ　成果指標の達成状況　（Ｄｏ）

成果指標1	成果指標名	（参考）R1	基準値 R2	実績値 R3	R4	R5	R6	R7	計画値 R3	目標値 R7	R3年度達成状況
	ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞｱｸｾｽ（ｾｯｼｮﾝ）数	389,782	*366,285*	375,786					373,028	400,000	**達成**
	状況説明	【目標値設定理由】移転開館直後のR1から概ね１万アクセス増 【集計条件等】Googleアナリティクスで当該期間を指定した際の「アクセス数」とする（図書館外からのｱｸｾｽを除く）。 【R3状況】新型コロナウイルス感染症により臨時休館していた８月が最低値（25,649セッション。前年は29,182）で、１月が最高値（37,734セッション。前年32,024セッション）。臨時休館した５・６・８月以外は、前年度を上回るアクセスがあり、計画値を達成した。									

成果指標2	成果指標名		（参考）R1	基準値 R2	実績値 R3	R4	R5	R6	R7	計画値 R3	目標値 R7	R3年度達成状況
	SNSﾘｰﾁ数	Twitter	1,944,730	2,700,463	3,368,258					2,971,394	4,000,000	**達成**
		Youtube	未実施	13,779	42,275							
		合計	1,944,730	2,714,242	3,410,533	0	0	0	0			
	状況説明	【目標値設定理由】R1実績の概ね２倍 【集計条件等】Twitter及びYoutubeの月別のインプレッション（ページビューに相当）※１年分をまとめた確認はできない為、月ごとに別途集計が必要。 【R3状況】Twitter（667,795増）、Youtube（28,496増）ともに順調にインプレッション数が増加しており、R3の計画値を達成。										

成果指標3	成果指標名	（参考）R1	基準値 R2	実績値 R3	R4	R5	R6	R7	計画値 R3	目標値 R7	R3年度達成状況
	利用登録者数	24,376人	16,586人	15,154人					18,269	25,000	**未達成**
	状況説明	【目標値設定理由】移転開館直後のR1実績以上の利用者数を目指す 【集計条件等】当該年度内に利用のあった登録者数、図書館ｼｽﾃﾑの「地区別登録者統計」で年度末日を基準日とし、「１年以内に利用した登録者のみ」を指定して集計 【R3状況】年齢別では、９歳までと70歳以上では、増加しているが、その他の年齢層は、全て減少している。特に学生の減少率が大きい（全体△8.6%に対して、13～15歳△16.5%（△63人）、16～18歳△17.1%（△95人）、19～22歳△22.4%（△281人））。									

成果指標4	成果指標名	（参考）R1	基準値 R2	実績値 R3	R4	R5	R6	R7	計画値 R3	目標値 R7	R3年度達成状況
	利用者満足度（来館利用者）	－	－	88.5%					80%	80%	**達成**
	状況説明	【目標値設定理由】満足度８割以上 【集計条件等】来館利用者に対する満足度調査のうち、「県民に開かれた知の拠点」としての総合的な満足度について、「満足」、「どちらかといえば満足」を足した割合（「わからない」とした人数は母数から除く）とする。 【R3状況】 満足46.2%、どちらかといえば満足42.3%　回答数52										

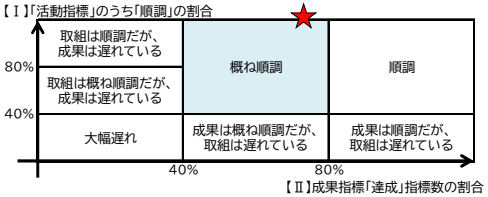
Ⅲ 目標の推進状況の分析（Ｃｈｅｃｋ）

（１）目標の推進状況

Ⅰ　活動指標の進捗状況　（「順調」の割合）	100.0%
Ⅱ　成果指標の達成状況　（「達成」の割合）	75.0%

目標推進状況	概ね順調

「目標別評価の判定基準」区分表



（２）目標の推進状況の分析

当該目標の推進状況は、「概ね順調」である。
活動指標については、３項目全てが「順調」だが、成果指標については、４項目中１項目、「利用登録者数」の指標が目標値未達成となった。
新型コロナウイルス感染症の流行等による臨時休館による来館利用者減の影響もあると思われるが。特に減少率の大きい若年層について、試験期間前等を中心に、自主学習による利用は多く見られる為、こうした来館者を図書館資料の利用につなげる取組を進めていく必要があると思われる。
成果指標の「SNSリーチ数」については、令和元年度の1.75倍程度まで利用が伸び続けている状況である。Twitterのフォロワー数も増える中、公共図書館の中でも注目されているところであり、『県民に開かれた知の拠点』の実現に向けて、今後も活用が期待される。

Ⅳ　目標の推進戦略案　（Ａｃｔｉｏｎ）

○学生の図書館資料の利用を促す取組を実施し、登録利用者数の増加を図る（自習席の座席予約システム対応による利用者登録や、登録時のティーンズコーナー周知、高校生が利用するSNS（Instagram等）の活用等）。

様式１

「目標」別取組状況検証表

目標	2	琉球・沖縄関係資料の中核的図書館
目指す目標像	琉球・沖縄の文化継承・発展の中核となり、誇りうる図書館として、県民のアイデンティティーの継承発展に資すること等を目的に、蔵書の核となる郷土資料の充実・保存・活用を図り、文化の創造に貢献します。	
関連取組	6-①郷土資料の網羅的収集　6-②貴重書の継続的な調査・収集　6-③移民関連資料の収集・提供　6-④視聴覚資料の調査・収集・提供 7-①適切な保存環境の整備及び収蔵計画の策定　7-②寄贈資料整理計画の策定　7-③郷土資料の修復・デジタル化の実施 8-①貴重資料・新収蔵資料等に係る展示会の開催　8-②図書館資料を活用した講座・セミナー等の開催　8-③デジタルアーカイブの充実　8-④郷土資料関連サービスにかかる情報発信	

Ⅰ　活動指標の進捗状況　（Ｐｌａｎ・Ｄｏ）

令和３年度

活動指標１

活動指標名	郷土資料受入冊数（購入）						進捗状況
年度別計画	R3（A）	R4	R5	R6	R7		
	2,000冊	2,000冊	2,000冊	2,000冊	2,000冊		やや遅れ
実績値	H30	R1	R2	R3（B）	達成割合 B/A		
	2,014冊	1,718冊	1,809冊	1,314冊	65.7%		

備考（活動概要）：【計画の概要】H30、R1の実績を考慮し、2,000冊/年の登録を行う。※琉球・沖縄関係の出版資料は全点購入（原則、保存・閲覧・貸出用の３冊）を原則とする。【R3の状況】県内外の郷土関連資料の出版情報を確認しながら全点購入する前提で収集している為、出版タイトルの減少が原因と思われる。

活動指標２

活動指標名	郷土資料受入冊数（寄贈）						進捗状況
年度別計画	R3（A）	R4	R5	R6	R7		
	5,000冊	5,000冊	5,000冊	5,000冊	5,000冊		順調
実績値	H30	R1	R2	R3（B）	達成割合 B/A		
	3,842冊	5,034冊	8,615冊	5,418冊	108.4%		

備考（活動概要）：【計画の概要】習熟度の高い登録員が新ｼｽﾃﾑで登録したR1実績を考慮し、5,000冊/年の登録を行う。【R3の状況】Ｒ３年度の登録数は例年と比較し、増加。※Ｒ２年度は予備本登録（書誌作成不要）があったため登録冊数が多い。

活動指標３

活動指標名	琉球・沖縄関係展示実施回数						進捗状況
年度別計画	R3（A）	R4	R5	R6	R7		
	24回	24回	24回	24回	24回		順調
実績値	H30	R1	R2	R3（B）	達成割合 B/A		
	－	28回	26回	49回	204.2%		

備考（活動概要）：【計画の概要】２箇所×12ヶ月→24回/年　実施する。【R3の状況】レファレンス事例展示や、折々の時事イベント(ex;沖縄関連アニメ、映画作品公開、世界自然遺産登録等)に合わせた展示を多く実施した。

活動指標４

活動指標名	琉球・沖縄関係講座実施回数（延べ）						進捗状況
年度別計画	R3（A）	R4	R5	R6	R7		
	8	8	8	8	8		順調
実績値	H30	R1	R2	R3（B）	達成割合 B/A		
	7	13	9	10	125.0%		

備考（活動概要）：【計画の概要】郷土史講座6回、歴史講座1回の他に1回開催する。【R3の状況】郷土史講座(全6回)、歴史講座、移民関連講座及び委託事業関係講座を開催。

活動指標５

活動指標名	ﾚﾌｧﾚﾝｽ協同ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽ掲載件数（累積値）						進捗状況
年度別計画	R3（A）	R4	R5	R6	R7		
	792件	804件	816件	828件	840件		順調
実績値	H30	R1	R2	R3（B）	達成割合 B/A		
	753件	769件	780件	792件	100.0%		

備考（活動概要）：【計画の概要】12件/年※毎月１件の掲載を目指す。【R3の状況】12件の事例登録を行った。

備考（その他の活動等）	○（公財）放送番組センター（放送法の指定を受けた我が国唯一の放送番組専門のアーカイブ施設）と連携し、沖縄にゆかりのある人物や歴史・文化に関する内容のテレビ・ラジオ番組のストリーミング視聴サービスを開始した（令和４年３月開始）。 ○オンライン企画展「小説『ノロエステ鉄道』とブラジル・カンポグランデの沖縄県系人」公開（日本語・英語・ポルトガル語。令和４年３月公開） ○移民関連資料として「實業之布哇三十周年記念號」、「當山全成更生日記」、「音声資料 大城カメ・ブラジル」等151点を収集 ○移民ルーツ調査を61件実施　○令和３年度郷土資料室複写枚数　74,694枚（R2実績：85,908枚） ○令和３年度郷土資料室入場者数　31,244人（開館日１日あたり約142人）※R2：37,653人（開館日１日あたり約152人）

Ⅱ　成果指標の達成状況　（Ｄｏ）

成果指標１

成果指標名	（参考）R1	基準値 R2	実績値 R3	R4	R5	R6	R7	計画値 R3	目標値 R7	R3年度達成状況
ﾚﾌｧﾚﾝｽ協同ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽｱｸｾｽ数	223,270	224,474	225,630					200,000	200,000	達成

状況説明：【目標値設定理由】H26-28の平均ｱｸｾｽ数である20万ｱｸｾｽを今後も維持する。【R3状況】事例登録を継続して行っており、アクセス数も目標値の達成を維持した。

成果指標２

成果指標名	（参考）R1	基準値 R2	実績値 R3	R4	R5	R6	R7	計画値 R3	目標値 R7	R3年度達成状況
琉球・沖縄関係講座満足度	79%	90%	99%					80%	80%	達成

状況説明：【目標値設定理由】満足度８割以上【R3状況】・移民関連講座（満足度99.5%／回答数103）※オンラインで、ブラジルから同時通訳・委託事業関係講座（満足度100%／回答数25）

成果指標３

成果指標名	（参考）R1	基準値 R2	実績値 R3	R4	R5	R6	R7	計画値 R3	目標値 R7	R3年度達成状況
郷土ﾌﾛｱ・ｻｰﾋﾞｽ利用者満足度	－	－	83.3%					80%	80%	達成

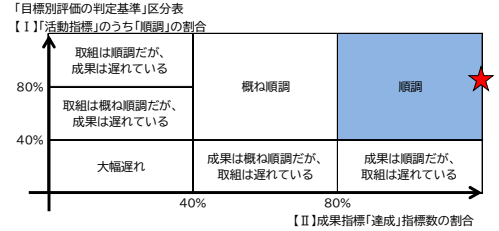
状況説明：【目標値設定理由】満足度８割以上【R3状況】満足66.7%、どちらかといえば満足16.7%　回答数6

Ⅲ 目標の推進状況の分析（Ｃｈｅｃｋ）

（１）目標の推進状況

Ⅰ	活動指標の進捗状況　（「順調」の割合）	80.0%
Ⅱ	成果指標の達成状況　（「達成」の割合）	100.0%

目標推進状況	順調



（２）目標の推進状況の分析

当該目標の推進状況は、「順調」である。
活動指標１の「郷土資料受入冊数（購入）」の進捗状況は「やや遅れ」という判定になっているものの、予算の都合で購入できない資料がある訳ではなく、出版情報が確認できた資料については、全て収集ができており、実質的には順調に推移していると言える。
その他の活動指標について、寄贈資料の収集、展示の実施、講座の開催、ﾚﾌｧﾚﾝｽ協同ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽへの掲載についても計画通りに実施できている他、活動指標以外にも、放送ﾗｲﾌﾞﾗﾘｰ（放送番組ｾﾝﾀｰのｺﾝﾃﾝﾂ視聴）や、電子展示の実施等新たなｻｰﾋﾞｽを提供しており、取組は順調に進捗したと言える。
取組を受けた成果指標についても、ﾚﾌｧﾚﾝｽ協同ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽｱｸｾｽ数、講座満足度、郷土ﾌﾛｱ・ｻｰﾋﾞｽ利用者満足度ともに目標値を達成した。
一方、郷土ﾌﾛｱ・ｻｰﾋﾞｽ利用者満足度調査において、回答数が少ないことから、より多くの利用者意見を運営改善に取り入れられるよう実施方法に工夫が必要と思われる。

Ⅳ　目標の推進戦略案　（Ａｃｔｉｏｎ）

○各取組については、令和３年度同様に継続して実施する。
○郷土ﾌﾛｱ・ｻｰﾋﾞｽ利用者満足度調査について、回答数を増やす為の改善策を実施。

（目標2）検証表

様式１

「目標」別取組状況検証表

目標	3	地域や県民の課題解決を支援する図書館
目指す目標像	地域や県民の多様化・専門化する課題に対応した情報を広範囲に収集し、活用できる図書館を目指します。	
関連取組	9-①健康・医療、子育て等、課題解決サポートの充実 10-①就労、企業、経営に関する資料の収集　10-②関連機関等と連携した相談会、セミナー、講座等の開催 11-①国・県・市町村等事業との連携 12-①琉球・沖縄に関するレファレンス対応能力の向上　12-②郷土資料関連サービスにかかる情報発信　12-③移民関係資料を活用したルーツ調査等の実施	

Ⅰ　活動指標の進捗状況　（Ｐｌａｎ・Ｄｏ）

令和３年度

				R3 (A)	R4	R5	R6	R7	進捗状況
活動指標1	活動指標名	ﾊﾟｽﾌｧｲﾝﾀﾞｰ・ﾌﾞｯｸﾘｽﾄ作成・更新数（一般）	年度別計画	12	12	12	12	12	順調
	備考（活動概要）	【計画の概要】 毎月１件の作成を目指す（12件/年）。 ※ﾌﾞｯｸﾘｽﾄには、WebOPACの展示ﾘｽﾄを含む 【R3の状況】展示実施の都度、ﾌﾞｯｸﾘｽﾄをWebOPACで公開した。 【内訳】 ・WebOPAC（展示ﾘｽﾄ）：87件 ・紙のﾌﾞｯｸﾘｽﾄ：12件 ・行政ﾚﾌｧﾚﾝｽの際のﾌﾞｯｸﾘｽﾄ：４件	実績値	H30	R1	R2	R3 (B)	達成割合 B/A	
				－	－	－	103	858.3%	
活動指標2	活動指標名	ﾊﾟｽﾌｧｲﾝﾀﾞｰ・ﾌﾞｯｸﾘｽﾄ作成・更新数（郷土）	年度別計画	R3 (A)	R4	R5	R6	R7	進捗状況
	備考（活動概要）	【計画の概要】 四半期ごとに１テーマを作成する。 ※ﾌﾞｯｸﾘｽﾄには、WebOPACの展示ﾘｽﾄを含む 【R3の状況】 パスファインダーを２件新規作成した他、３件、時点に合わせた見直し・追記等の内容更新を行った。 ブックリスト６件（「沖縄を知るための10冊」関係）	実績値	4	4	4	4	4	順調
				H30	R1	R2	R3 (B)	達成割合 B/A	
				－	－	－	11	275.0%	
活動指標3	活動指標名	展示架稼働率※再掲	年度別計画	R3 (A)	R4	R5	R6	R7	進捗状況
	備考（活動概要）	【計画の概要】 展示架稼働率を９割以上とする。 【集計条件等】 展示稼働率＝展示延べ日数/（年間総日数×展示架総数※）とする。 ※展示架数：３F展示架等＝14、４F展示架＝2　合計16 【R3の状況】 新型ｺﾛﾅｳｲﾙｽ感染症による臨時休館明けに調整難航等した為、稼働率が低下した。	実績値	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	順調
				H30	R1	R2	R3 (B)	達成割合 B/A	
				－	88.6%	93.6%	86.1%	95.7%	
活動指標4	活動指標名	ﾚﾌｧﾚﾝｽ協同ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽ掲載件数（累積値）※再掲	年度別計画	R3 (A)	R4	R5	R6	R7	進捗状況
	備考（活動概要）	【計画の概要】 12件/年※毎月１件の掲載を目指す。 【R3の状況】 12件の事例登録を行った。	実績値	792件	804件	816件	828件	840件	順調
				H30	R1	R2	R3 (B)	達成割合 B/A	
				753件	769件	780件	792件	100.0%	
活動指標5	活動指標名	課題解決支援関連図書購入冊数	年度別計画	R3 (A)	R4	R5	R6	R7	進捗状況
	備考（活動概要）	【計画の概要】 H30-R2と同規模の購入量を確保する。 【集計条件等】 集計の都合上、冊数は選書ベースとする。 冊数は、「課題解決」「健康医療」「子育て支援」「備品課題」（備品扱いの課題解決用図書）の区分で選書発注された冊数の合計とする。 【R3の状況】 「課題解決」911冊、「健康医療」346冊、「子育支援」306冊、「備品課題」3冊	実績値	1,500冊	1,500冊	1,500冊	1,500冊	1,500冊	順調
				H30	R1	R2	R3 (B)	達成割合 B/A	
				1,530冊	1,668冊	1,421冊	1,566冊	104.4%	

備考（その他の活動等）	○健康医療関連講演会等を３回実施（がん講演会及びヤクルト出前授業「ウン知育教室」２回） ○移民ルーツ調査を61件実施（再掲）

Ⅱ　成果指標の達成状況　（Ｄｏ）

	成果指標名	（参考）R1	基準値 R2	実績値 R3	R4	R5	R6	R7	計画値 R3	目標値 R7	R3年度達成状況
成果指標1	ｵﾝﾗｲﾝﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽ端末利用回数	1,097回（3,9回）	837回（3,4回）	669回（3,0回）					910回	1,200回	未達成
	状況説明	※下段()内は、開館１日あたり利用回数 【目標値設定理由】新型ｺﾛﾅｳｲﾙｽ感染症の拡大による休館期間を除き、R1実績と同程度 【集計条件等】座席予約システムの統計機能により、各データベース用端末５台（①②県内新聞③県外新聞④法令・官報、⑤市場情報・商圏分析データ）の利用回数を集計する。※各データベースごとのアクセス件数では集計できない為、端末の利用回数を集計するものとする。 【R3状況】５～９月は新型コロナウイルス感染症による臨時休館のため利用回数が減少し未達成であった。開館している月は、前年度の実績と概ね同程度の数値である。								

	成果指標名	（参考）R1	基準値 R2	実績値 R3	R4	R5	R6	R7	計画値 R3	目標値 R7	R3年度達成状況
成果指標2	ﾚﾌｧﾚﾝｽ協同ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽｱｸｾｽ数※再掲	223,270	224,474	225,630					200,000	200,000	達成
	状況説明	【目標値設定理由】H26-28の平均ｱｸｾｽ数である20万ｱｸｾｽを今後も維持する。 【R3状況】 事例登録を継続して行っており、アクセス数も目標値を維持した。									

	成果指標名	（参考）R1	基準値 R2	実績値 R3	R4	R5	R6	R7	計画値 R3	目標値 R7	R3年度達成状況
成果指標3	ﾋﾞｼﾞﾈｽﾙｰﾑ利用数	95件	34件	14件					47件	100件	未達成
	状況説明	【目標値設定理由】R1実績以上 【集計条件等】自主事業による利用と貸出による利用の合計数とする。 【R3状況】新型コロナウイルス感染症により５～９月にかけて臨時休館した影響により利用回数が減少した。									

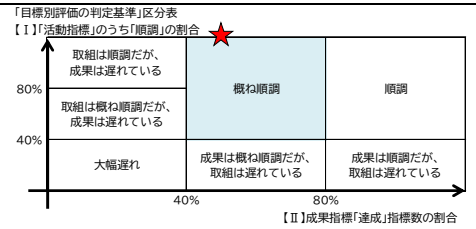
	成果指標名	（参考）R1	基準値 R2	実績値 R3	R4	R5	R6	R7	計画値 R3	目標値 R7	R3年度達成状況
成果指標4	ﾚﾌｧﾚﾝｽｻｰﾋﾞｽ利用者満足度	－	－	100%					80%	80%	達成
	状況説明	【目標値設定理由】満足度８割以上 【R3状況】 満足100.0%　回答数2									

Ⅲ 目標の推進状況の分析（Ｃｈｅｃｋ）

（１）目標の推進状況

Ⅰ　活動指標の進捗状況　（「順調」の割合）	100.0%
Ⅱ　成果指標の達成状況　（「達成」の割合）	50.0%

目標推進状況	概ね順調



（２）目標の推進状況の分析

当該目標の推進状況は、「概ね順調」である。
活動指標のうち、ブックリストの作成に関して、館内での展示実施の都度、WebOPACに展示リストを掲載することにより、計画値を大幅に上回る実績を達成した。今後は、ブックリストの存在や利用方法の周知等を行い利用を広げる必要がある。その他の活動指標（展示、レファレンス協同データベースへの掲載、課題解決支援図書の購入冊数）についても、全て計画値を達成しており、「順調」に進捗している。
一方、成果指標としては、オンラインデータベース端末利用数及びビジネスルーム利用数が未達成となっている。新型コロナウイルス感染症の拡大に係る臨時休館の影響を受けている面はあるが、あわせてサービス等の周知について、取り組む必要があると思われる。
また、レファレンスサービス利用者満足度調査については、令和３年度は、数日しか実施できず、十分な回答数が得られていない為、通年実施により、多くの利用者意見を取り入れ運営改善に取り入れたい。

Ⅳ 目標の推進戦略案　（Ａｃｔｉｏｎ）

○オンラインデータベース及びビジネスルーム利用促進に資する広報等の実施・充実（研修、掲示等）
○レファレンスサービス利用者満足度調査の通年実施及び利用者意見を活用した運営改善等

様式１

「目標」別取組状況検証表

目標	4	県域の中枢となる図書館
目指す目標像	すべての県民に等しく読書環境を提供するため市町村立図書館及び図書館未設置町村を支援するとともに、関係機関とのネットワークの充実を図り、県全域の図書館サービスの向上に寄与します。	
関連取組	13-①遠隔地返却、協力貸出、電子書籍等による利便性の向上 14-①子どもの読書活動推進に資する研修等の開催　14-②読書活動推進団体及び学校図書館の支援と連携 14-③子どもの読書活動推進に資する図書の充実及び展示会・イベント等の開催 15-①相互貸借に係る資料配送の支援　15-②市町村立図書館等との連携協力及び情報提供の強化 16-①移動（空とぶ）図書館、一括貸出、協力貸出の実施　16-②関係町村との連携協力・情報提供の強化 17-①関連・類縁機関と連携した事業等の開催及びネットワークの強化 18-①県内図書館職員を対象とした研修計画の策定と実施　18-②県立図書館職員の専門性の向上及び研修機会の確保	

Ⅰ　活動指標の進捗状況　（Ｐｌａｎ・Ｄｏ）

令和３年度

				R3 (A)	R4	R5	R6	R7	進捗状況
活動指標1	活動指標名	遠隔地返却サービス利用可能箇所数 ※累積値	年度別計画	15箇所	17箇所	19箇所	21箇所	23箇所	順調
	備考（活動概要）	【計画の概要】 Ｒ７年度までに23箇所（Ｒ１実施意向調査に基づく）で利用可能となることを目指す。 【R3の状況】 もとぶ文化交流センター図書資料室及び多良間村立図書館が新たに参加したことにより、利用可能箇所数が増加した。	実績値	H30	R1	R2	R3 (B)	達成割合 B/A	
				4箇所	4箇所	13箇所	15箇所	100.0%	
活動指標2	活動指標名	学校等訪問回数	年度別計画	R3 (A)	R4	R5	R6	R7	進捗状況
	備考（活動概要）	【計画の概要】 １ヶ月あたり３回実施 【R3の状況】 新型コロナウイルス感染症拡大により訪問できる時期・場所に制約があり、計画値を達成できなかった。		36回	36回	36回	36回	36回	大幅遅れ
			実績値	H30	R1	R2	R3 (B)	達成割合 B/A	
				－	44回	21回	10回	27.8%	
活動指標3	活動指標名	移動図書館開催回数	年度別計画	R3 (A)	R4	R5	R6	R7	進捗状況
	備考（活動概要）	【計画の概要】 図書館未設置町村等で各2回実施する。 【R3の状況】 新型コロナウイルス感染症拡大による開催中止が多く、計画値を達成することができなかった（中止箇所では、協力貸出により、リクエスト本貸出等を実施）。		40回	40回	40回	40回	40回	大幅遅れ
			実績値	H30	R1	R2	R3 (B)	達成割合 B/A	
				24回	39回	22回	16回	40.0%	
活動指標4	活動指標名	専門性の向上に資する研修、研究会、視察等への参加人数（延べ）	年度別計画	R3 (A)	R4	R5	R6	R7	進捗状況
	備考（活動概要）	【計画の概要】 毎年（資料班・奉仕班）毎に２名参加 ※司書講習は全体で１人とカウントする。館内で実施する研修への参加は原則としてカウントしない。 【R3状況】 ・障害者サービス担当職員向け研修（1人） ・児童サービス研究交流会（2人） ・図書館地区別研修※九州地区（2人） ・司書講習（2人）		4人	4人	4人	4人	4人	順調
			実績値	H30	R1	R2	R3 (B)	達成割合 B/A	
				－	－	－	7人	175.0%	

備考（その他の活動等）	○電子書籍サービス（令和３年３月10日開始）を通年提供 ○本の宅配サービス（送料利用者負担）『ひ～じゃ～便』を通常サービス化（令和３年７月開始） ○県立博物館・美術館（おきみゅー）連携展示実施 ○県教育庁文化財課史料編集班と連携した講演会等を開催 ○生涯学習推進センター「県民カレッジ」連携展示の実施 ○学校図書館司書研修会を開催 ○図書館セミナー（学校及び社会教育施設等対象）開催※「GIGAスクール構想と図書館～共に考えるこれからの図書館サービス～」

Ⅱ　成果指標の達成状況　（Ｄｏ）

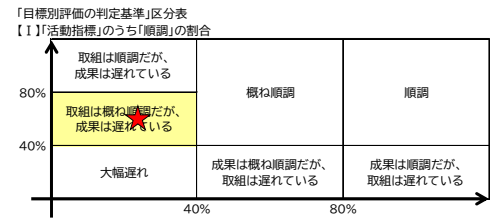
	成果指標名		（参考） R1	基準値 R2	実績値 R3	R4	R5	R6	R7	計画値 R3	目標値 R7	R3年度達成状況
成果指標1	市町村巡回車資料搬送点数		23,424	22,632	21,938					23,106	25,000	未達成
	状況説明	【目標値設定理由】R1実績と同程度の搬送量を維持 【R3状況】新型コロナウイルス感染症拡大に伴う休館があったものの、R2年度の搬送点数を維持した。										
成果指標2	未設置町村等向け貸出数	移動図書館	18,234冊	11,770冊	7,193冊					56,046冊	60,000冊	未達成
		一括貸出	39,172冊	40,188冊	36,848冊							
		協力貸出	1,750冊	3,100冊	3,296冊							
		合計	**59,156冊**	**55,058冊**	**47,337冊**							
	状況説明	【目標値設定理由】R1実績と同程度以上 【R3状況】新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、移動図書館の中止や一括貸出登録団体の貸出数減少があり、R2年度より利用数が減少した（協力貸出については、移動図書館中止時のリクエスト本貸出しがあり増加）。										
成果指標3	電子書籍閲覧数		－	1,378回	12,037回					14,000回	14,000回	未達成
	状況説明	【目標値設定理由】同タイプの電子書籍ｼｽﾃﾑの先行導入事例県への聞き取りによる2020年4-6月期（新型コロナウィルス感染症の影響により利用増加傾向）の平均利用回数（A県・約750回/月、B県/約1,500回/月）の平均（1,125回×12ヶ月＝13,500回）から算定 ※両県とも電子書籍の所蔵数は1,050冊程度。R3.3.10からのサービス開始となる為、R2実績を基準値としては採用せず、毎年目標値を計画値として設定する。 【R3状況】　電子書籍タイトル数　846冊（2022(R4)年3月末現在）										
成果指標4	各市町村、関係機関等満足度		－	－	100%					80%	80%	達成
	状況説明	【目標値設定理由】満足度８割以上 【R3状況】 市町村立図書館：満足65.2%　どちらかといえば満足34.8%　回答数23 図書館未設置町村：満足100%　回答数１										

Ⅲ 目標の推進状況の分析（Ｃｈｅｃｋ）

（１）目標の推進状況

Ⅰ	活動指標の進捗状況　（「順調」の割合）	50.0%
Ⅱ	成果指標の達成状況　（「達成」の割合）	25.0%

目標推進状況	取組は概ね順調だが、成果は遅れている



（２）目標の推進状況の分析

当該目標の推進状況は、「取組は概ね順調だが、成果は遅れている」である。
活動指標のうち、「遠隔地返却サービス利用可能箇所数」と「専門性の向上に資する研修、研究会、視察等への参加人数」に関しては、計画値を達成しているが、新型コロナウイルス感染症の影響等により、「学校等訪問回数」及び「移動図書館開催回数」については、計画値を達成できず「大幅遅れ」となった。
成果指標のうち、「市町村巡回車資料搬送点数」及び「未設置町村等向け貸出冊数」について、今回「未達成」となっているが、新型コロナウイルス感染症の影響が大きい為、感染症の収束を待ちたい。「電子書籍閲覧数」についても計画値「未達成」となっているが、R7目標値の85%まで達している為、タイトルの充実やサービス周知を進め、計画値の達成を目指したい。「各市町村、関係機関等満足度」については、市町村巡回車の運行等が評価され、満足度は100%となっている。しかし、県立図書館への貸出依頼手続きの違い等の統一を求める意見等、要望も多いことから、対応・改善等を進める等市町村支援についての取り組みを進めていく必要がある。

Ⅳ　目標の推進戦略案　（Ａｃｔｉｏｎ）

○遠隔地利用サービスの周知・広報の充実
○R3「各市町村、関係機関等満足度調査」による各市町村意見・要望等への対応